

「桃太郎山車」復活 宇都宮でお披露目



桃太郎山車を懸命に引っ張る西原小の子どもたち—宇都宮市西原2で

宇都宮市内の建築家らでつくる「宮のにぎわい 山車復活プロジェクト」（榎山幸雄会長）が進めていた人形山車「桃太郎山車」の修復作業が終わり、宇都宮市新町などで8日、披露された。お披露目巡行には地区住民など約300人が参加し、懸命に山車を引っ張る子どもたちに声援を送った。

桃太郎山車は明治時代（旧南新町）で造られ、1913（大正2）年まで同市の宇都宮二荒山神社の菊水祭で巡行していた記録があるという。

2年半がかりで修復を終えた山車はこの

日、午前中には同市新町2の大ケヤキ跡から同市立西原小学校まで、午後には同校周辺の計2・3キロを引き回された。手綱の先頭を任された同小6年、渡辺紀徳君（11）は「重くて大変だったけれど達成感があった」と汗をぬぐった。

南新町下組自治会の高瀬恒三元会長（84）は

「こんなに立派になっ
てすごく幸せです」と
笑顔だった。同プロジ
ェクトは、今秋の菊水
祭で桃太郎山車の10
3年ぶりの復活巡行を
目指している。

【野田樹】